

おだわら市民交流センター指定管理者自己評価表（平成 29 年度分）（記載例）

【機能の達成状況】

[評価点 5 優れている 4 やや優れている 3 概ね適正である 2 改善した方がよい 1 改善が必要である]

(1) 6つの機能

名称	評価点	評価の理由
拠点機能	4	UMECO企画展において、当初目標よりも多くの市民活動団体を紹介することができたことなど、UMECOの施設を生かし十分な成果を上げることができた。
相談・支援機能	3	相談者の課題解決に一定の成果を上げることができた。次年度に向け、より多くの職員が相談業務に対応できるよう努めたい。
協働支援機能	4	市民活動団体の特性を生かして地域の課題を解決すべく、地域活動団体と市民活動団体との連携を進め、多くの依頼に対応することができた。また、他主体との連携も積極的に進めた。
学習・体験機能	4	市民活動へのきっかけ作りから活動の活発化まで、幅広いニーズに対応できるような講座等を実施した。参加者数の面で課題は残ったが、参加者の満足度は高かった。
交流・コーディネート機能	4	工夫して事業に取り組み、それぞれの交流会等の目的を達成できた。特に新春交流会では、連合自治会長さんと和やかに交流できたことにより地域活動団体との連携の促進につながった。
情報の集約・発信機能	3	広報媒体のターゲットを意識したことで、ある程度効果的に情報を発信できたと考えられる。読者からも反応をいただいた。

(2) その他

名称	評価点	評価の理由
男女共同参画	3	UMECO企画展において、男女共同参画週間展を開催するなど、市と協働での意識啓発に取り組んだ。
国際交流	3	企画展に国際交流関係団体に参加いただくことで、日本とは異なる文化に触れることができる機会を作り出すことができた。

【コンセプトの達成状況】

名称	評価点	評価の理由
誰でも気軽に つながりを生み出すきっかけの場	4	展示や講座等、一般の方が市民活動を始めるきっかけづくりを特に重視し、実際に市民活動団体に加入した方も見られるなど、十分な成果があった。また、一般の方からの市民活動に係る相談には、活動を始められるよう案内できた。
シェアしながら それぞれの思いが繋がる行動の場	4	他地域を含む市民活動団体同士で、また地域活動団体との交流を十分に行うことができた。特にまちづくり交流会について、次回はさらに発展したものとできるよう企画を始めているなど、協働が広がっている。
地域の課題を解決する 行動を社会貢献につなげる実現の場	4	事業を行う中で、各主体間につながりができた。地域活動団体ネットワーク形成事業について、説明の依頼を受けるなど、地域からの期待が高まっているように感じられるため、今後さらにこのコンセプトの達成に向け注力したい。

【その他】・・・(省略)